

桜花学園大学

実地視察大学の概要

○課程認定を受けている学科等の概要

大学名		桜花学園大学		設置者名	学校法人 桜花学園		
学部・学科等の名称等			認定を受けている免許状の種類・認定年度		免許状取得状況・就職状況 (平成17年度)		
学部	学科等	入学定員	免許状の種類	認定年度	卒業者数	免許状取得者数	教員就職者数
人文学部	人間関係学科	120人	中一種免(社会) 高一種免(公民)	平成15年度 平成11年度	55人	9人 0人 9人	1人
	国際文化学科	70人	中一種免(国語) 高一種免(国語) 高一種免(書道) 中一種免(社会) 高一種免(地理歴史) 中一種免(英語) 高一種免(英語)	平成11年度 平成11年度 平成13年度 平成15年度 平成15年度 平成15年度 平成15年度		27人	
保育学部	保育学科	75人	幼一種免	平成13年度	109人	109人	12人
入学定員合計		265人	合計		191人	123人	15人
備考	<p>・「免許状取得者数」欄の、左側には各学科の実人数を、右側には学科内の教員免許課程ごとの人数を記載している。</p> <p>・保育学部の場合、公務員保育職に48人就職しているが、この中で幼稚園に配属されている人数は確認されておらず、上記教員就職者数には入っていない。</p>						

右欄の指摘等にかかる現在の状況		委員による指摘又は指導・助言等	
全般的事項	<ul style="list-style-type: none"> ・教員養成に関する教育課程、教員組織等については、全般的に基準を満たしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も引き続き、教員養成の水準の維持・向上に努めてほしい。 	
個別的事項	教員養成に対する理念等	<ul style="list-style-type: none"> ・教員養成に対する全学的な理念を明確にし、その理念を具体化・具現化するために、教職課程に対する全学的な組織、教育課程や教員組織が充実したものとなるように、これらの充実した取り組みに一層努めてほしい。 	
	教育課程	<ul style="list-style-type: none"> ・今日的課題に即していない内容の教職科目が多く見受けられる。 ・人文学部の教職科目では、教材開発や模擬授業を扱っている授業科目が少ない。 ・授業科目「教職原論」や「保育職論」では、「教職の意義及び教員の役割、教員の職務内容、進路選択に資する各種の機会の提供等」に関する内容が含まれていないなど、法令で求められている事項が含まれているかシラバスから読み取れない。 ・教育課程及び指導法に関する科目では、学習指導要領そのものをテキストまたは参考書として使っている授業科目が少ない。 ・授業科目「カウンセリング論」等では、心理学の専門的な内容に偏っている。 ・授業科目「総合演習」では、具体的なテーマが明示されていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教職科目の内容を今日的課題に即してブラッシュアップしてほしい。 ・教材開発や模擬授業についても積極的に扱ってほしい。 ・教育職員免許法施行規則に定められている「各科目に含めることが必要な事項」が網羅的に含まれた授業科目となっているか、科目の設置趣旨に沿った内容になっているかなど、再度見直しを行い、これらの内容をシラバスに明記すること。 ・法令の趣旨により、指導法に関する授業科目は、学習指導要領に掲げる事項に即して、包括的な内容を含んだ科目でなければならない。よって、これらの授業科目では、教科書または参考書として学習指導要領を使用するよう努めること。 ・教育相談を取り扱う教職課程の科目であるので、それを前面に出したシラバスにすること。 ・総合演習で扱うテーマは、学生が履修前にわかるように具体的に設定し、模擬授業なども取り入れてほしい。
	教育実習	<ul style="list-style-type: none"> ・特に人文学部において、実習校との連携協力が図られておらず、大学教員の实習校訪問など、大学としての対応が不十分である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・大学がその主体性と責任を持って、その企画、実施、評価にあたり、定期的な実習校訪問を行うほか、母校実習の是非論も含めて検討し、大学として十分な対応が見られるようにしてほしい。

<p>教職指導、 介護等体 験等</p>	<p>・授業でどのような内容が扱われているか、学生にとってわかりにくいシラバスが多く見受けられる。</p> <p>・履修指導は、主に教務担当職員が窓口で個別に対応し、教員はゼミを通じて対応している。</p>	<p>・シラバスは、学生が読むことを考慮し、授業内容が学生にもわかるように、もう少し噛み砕いて作成してほしい。</p> <p>・履修指導にあたっては、教職の魅力を伝え、学生への丁寧な指導を行ってほしい。</p>
<p>免許状取得状況及び教員就職状況</p>	<p>・教員免許状取得者数は、保育学部では、第1期の卒業生全員が免許状を取得している。 人文学部は、卒業生数に占める割合は一定であるものの、1桁の人数となっている。</p> <p>(人文学部) 平成15年度 14人(卒業生 87人) 平成16年度 7人(卒業生 56人) 平成17年度 9人(卒業生 55人)</p> <p>(保育学部) 平成17年度109人(卒業生109人)</p> <p>・教員就職状況は人文学部で、1人か0人と低水準で推移し、保育学部では卒業生の5割近くが公務員保育職に就職し、約1割が私立幼稚園の教員に就職している。</p> <p>(人文学部) 平成15年度 1人 平成16年度 0人 平成17年度 1人</p> <p>(保育学部) 平成17年度 12人</p>	<p>・人文学部における教員免許状取得者数の少なさは、学生に対して教職の魅力を十分伝えられていないことや、教授会における教職に対する関心の低さなどが考えられるので、免許状の取得者数を多くする努力をしてほしい。 保育学部は引き続き、現在の水準を維持してほしい。</p>
<p>施設・設備 の状況</p>	<p>・教職への就職支援のための施設や体制は特に設けていない。</p>	<p>・人文学部の場合、教職への就職支援を民間企業への就職支援とは差別化していないのは、一つの見方としては良いのかもしれないが、教職についても支援組織を設けて、大学として責任をもって学生を支援してほしい。</p>